

みずほCustomer Desk Report 2016/08/24 号(As of 2016/08/23)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	100.13 AUD/USD
TKY 9:00AM	100.28	1.1317	113.51	0.9630	1.3132	0.7629
SYD-NY High	100.39	1.1355	113.72	0.9633	1.3210	0.7655
SYD-NY Low	99.93	1.1303	113.23	0.9594	1.3129	0.7613
NY 5:00 PM	100.25	1.1307	113.34	0.9629	1.3199	0.7614
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.635/15.135		△25RR	0.965	Yen Call Over	
NY DOW	18,547.30	17.88	債券市場	日本2年債	-0.2050	▲0.2bp
NASDAQ	5,260.08	15.48		日本10年債	-0.0800	▲2.0bp
S&P	2,186.90	4.26		米国2年債	0.7418	0.4bp
日経平均	16,497.36	▲100.83		米国5年債	1.1348	-
TOPIX	1,297.56	▲6.12		米国10年債	1.5458	0.3bp
シカゴ日経先物	16,555	5.00		独10年債	-0.0950	▲0.5bp
ロンドンFT	6,868.51	39.97	為替市況	英10年債	0.5440	▲1.6bp
DAX	10,592.88	98.53		豪10年債	1.8480	▲5.7bp
ハンセン指数	22,998.93	1.02		USD/CNH	6.6578	▲0.0034
上海総合	3,089.71	4.90	商品市況	ドルインデックス	94.50	▲0.02
USDJPY 3M Vol	13.22	0.18%		CRB指数	188.375	1.29
USDJPY 6M Vol	12.29	0.06%		NY金	1,346.100	2.70
EURJPY 3M Vol	12.00	0.06%		WTI	48.100	0.69
EURJPY 6M Vol	11.76	0.01%		Dubai Spot	45.45	▲1.31

東京	ロンドン時間に高値100.39をつけ、東京時間のドル円は100.28レベルでオープン。前日海外時間からのドル安の流れを引き継ぎ、ドル円はオープン後に直近安値100.22を割り込むと、ストップロスオーダーを巻き込みながら一時100.03まで下落する。しかし100円手前では実需のドル買いも相応に見られ、加えて日経平均が下げ幅を縮小させる動きも相まり、100.38まで上昇する。その後は26日のジャクソンホルのイレブンFRB議長の講演を控えて全般的に勢いは乏しく、ドル売りが強まる中でドル円はじりじりと値を下げ、結局100.11レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は100円台前半でレンジ推移となった。朝方は100.11レベルでオープン。ロンドン午前8時過ぎにポンドドルの買戻しを背景にドル売りが強まると、ドル円も一時99.93まで下落。その後は再び100円台前半まで値を戻し、100.05レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.31台半ばから後半にかけてレンジで推移し、ドル円と同じく方向感に欠ける展開となった。朝方は1.3166レベルでオープンし、前述の通り目立ったニュースが見当たらない中でポンドドルが1.3210レベルまで上昇した後は1.31台後半でもみ合いとなり、1.3187レベルでNYへ渡った。(ロンドントールフリー 日比野00531444 179)
ニューヨーク	NY市場のドル円相場は100.05レベルでオープン。朝方は引き続きドル円は上値の重さが意識され、100円割れを試す動きとなり一時99.99まで下落する。その後発表された7月の米新築住宅販売件数は予想を大きく上回る数字となり在庫水準も大きく低下する結果となったが、市場の反応は鈍くドル円は100円前半の推移が続く。中盤にさしかかり、ナスタックは最高値を更新、イン関連の報道で原油価格は急速に上昇、米債利回りも上昇する中、ドル円にも買いが入り一時100.28まで上昇した。ただし、ドル円は上値を積極的に追う展開とはならず、全体的には26日のイレブンFRB議長の講演待ちといった雰囲気強い中、100.25レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1344レベルでNYオープン。海外時間でユーロ圏PMIが良好な内容だったことからユーロドルは上昇する場面も見られたが、NY市場では上値を試すこともなく1.13台前半で方向感のない取引が続いた。26日のイレブンFRB議長の講演待ちの中、原油が急騰する展開に米国債利回りも上昇したことから、為替市場ではドル買いの反応に結びつき、ユーロドルは一時1.1303まで軟化。その後もユーロドルの上値は重く、1.1307レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 西谷・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月23日	16:00	仏 製造業/サービス業/総合PMI・速報値	8月 48.5/52.0/51.6	48.8/50.5/50.4
	16:30	独 製造業/サービス業/総合PMI・速報値	8月 53.6/53.3/54.4	53.6/54.4/55.1
	17:00	欧 製造業/サービス業/総合PMI・速報値	8月 51.8/53.1/53.3	52.0/52.8/53.1
	22:45	米 製造業PMI	8月 52.1	52.6
	23:00	欧 消費者信頼感指数・1次速報	8月 -8.5	-7.7
	23:00	米 新規住宅販売件数	7月 654K	580K

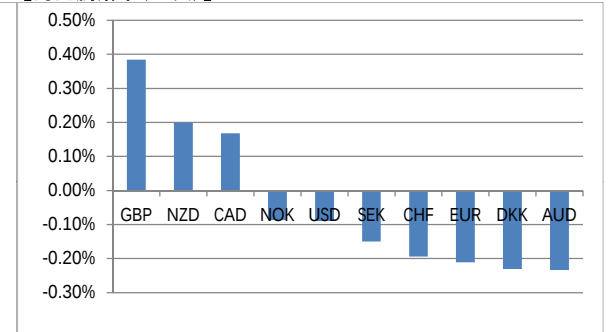
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月24日	15:00	独 GDP・確報値(季調済/前期比)	第2Q 0.4%	0.4%
	15:00	独 GDP・確報値(季調前/前年比)	第2Q 3.1%	3.1%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請件数	8/19週分 -	-4.0%
	22:00	米 中古住宅販売件数	7月 5.51M	5.57M

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	99.90-100.90	1.1250-1.1350	112.80-113.80

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル円は小幅に上昇する展開。一時100円割れを試す場面が見られたものの、発表された米7月新築住宅販売件数が市場予想を大きく上回る数字となると、下落の流れは一服。その後、「イランが生産協調を前向きに検討」とのヘッドラインが伝わると、原油価格が上昇する流れとなり、ドル円も小幅に反発。100.28まで値を戻す展開となった。本日は引き続き狭いレンジ内での値動きを予想する。本日は米国から住宅関連指標がいくつか発表されるも、ジャクソンホール待ちの相場となる中、大きく材料視されることは想定しにくい。警戒すべきは依然として下方方向と思われるものの、イレブンFRB議長講演を見るまでは動きづらい展開が続くと考えている。